

過去3年間の粗大ごみ処理実績

年 度	平成21年	平成22年	平成23年
ごみ処理量(t/年)	550	467	434
稼働日数(日/年)	184	175	179
稼働時間(h/年)	629	568	566
日平均稼働時間(h/日)	3.4	3.2	3.2
日平均処理量(t/日)	3.0	2.7	2.4
時間平均処理量(kg/h)	875	822	767
処理率(%)	21.9	20.6	19.2

過去3年間の可燃ごみ処理実績

年 度	平成21年	平成22年	平成23年
収集量(t/年)	11,169	10,675	10,756
焼却量(t/年)	14,654	14,035	14,576
稼働日数(日/年)	1号	256	257
	2号	245	254
稼働時間(h/日)	1号	4,528	4,430
	2号	4,284	4,292
時間当たり処理率(%)	1号	59.9	55.0
	2号	63.4	54.6



環境保全センター ごみ分別状況



ガスタービン発電機設置工事(中部電力㈱より提供)



津波レーダー



議会全員協議会風景

議会改革特別委員会

3月4日開催の委員会では、各市議会の基本条例の構成や条文などを調査研究するとともに、近隣市である磐田市議会と掛川市議会の基本条例を参考に、御前崎市議会にふさわしい形を模索しました。

討議を重ねる中で、「一問一答方式」のメリット・デメリットの研究、「政策等の形成過程の説明」とは何か、などが今後の課題として確認されました。

今後も、市民の皆様が信頼され、活力ある議会を実現するため、改革先行型で協議を進めてまいります。

総合開発計画策定特別委員会

3月14日に委員会を開催しました。内容は次のとおりです。

1 牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センターについて最近の状況報告がありました。詳細については次のとおりです。

粗大ごみ処理施設については、コンベア類のベルトや駆動部の交換・更新が必要です。焼却施設について

では、金属部のひび割れや耐火煉瓦のふくらみなどが見受けられるとの報告がありました。また、建屋の塗装及び防水処理の必要性があることも報告されました。

2 御前崎市総合計画の平成25年から3年間の実施計画が示され協議を行いました。市の健全な発展のためにしっかりと計画を立案・実施するように、などの議論がされました。

原子力対策特別委員会

3月14日開催の委員会では、浜岡原子力規制事務所より、原子力発電所3・4・5号機の検査結果について報告がありました。

福島第一原子力発電所の事故を踏まえた緊急安全対策の実施状況及び放射性廃棄物(液体・気体廃棄物)管理の実施状況などを検査した結果、いずれも違反となる事項はなかったとのことでした。

中部電力からは、津波対策工事の進捗状況、全交流電源や海水冷却機能を喪失した場合でも冷温停止に導くための緊急時対策の強化、外部電源の早期復旧対策などの説明がありました。また、1・2号機共用の排気筒の建替えに向けて、風向や風力などの観測を行うための気象観測装置を設置し、6月から1年間観測を行うとのことでした。

さらに、3月5日よりレーダーを用いて発電所前面海域沖合20kmほどの海面の流速などを観測し、津波襲来に伴う沖合の流速変化の検証を行う、津波監視技術の研究・開発を進めていると説明がありました。この研究(観測)が実用化されれば、確度の高い津波監視が可能となります。

浜岡原子力発電所に関して、「議会全員協議会」を開催しました。

1 平成24年12月25日
新しく発足した原子力規制庁より、「原子力規制委員会の組織と取り組みについて」、「安全規制と新基準策定のスケジュールについて」の説明を受けました。

2 平成25年1月18日
中部電力より、現在取り組んでいる津波対策工事について、敷地内への浸水防止効果を高めるため、防波壁をさらに4m嵩上げる追加対策工事の説明を受けました。

3 平成25年2月26日
資源エネルギー庁及び原子力規制委員会より、現在の状況について報告を受けました。

資源エネルギー庁
「国のエネルギー政策と原子力政策について」
原子力規制委員会
「新安全基準の骨子案について」